

## 地域で災害に備える

市内には、地域で自主的に防災活動を行う 89 の自主防災組織があります。大規模災害発生時には、行政などが救助・復旧活動を行うまでには約 3 日かかるといわれています。自主防災組織は、身近でできることを行い、地域の被害を減らす活動を行います。今回は、65 歳以上の方が 54.9% と、市の平均を大きく上回っている中で、独自の取り組みを行っている光風台自主防災会の活動を紹介します。



▲山口明氏 (光風台自主防災会会長)

### ▶さまざまな訓練で災害に備えています

光風台自主防災会は平成 20 年から現在の体制でスタートし、14 人の役員で構成されています。4 月 1 日現在、光風台には 624 世帯・1,383 人の方が住んでいます。

光風台自主防災会では、年に 1 度の住民参加の総合防災訓練や防災講演会、救急講習会など、災害から地域を守るために、さまざまな活動を行っています。昨年の 9 月に実施した総合防災訓練には約 300 人が参加しました。小学生も参加して、防災意識の向上にもつながったと思います。

昨年の台風 19 号の際には、普段から伝



達訓練などを行っていたため、速やかに被害状況を把握できました。

### ▶避難行動要支援者へのサポーター制度

光風台自主防災会では、避難行動要支援者へのサポーター制度に特に力を入れています。これは、自分で避難することが難しい方のために、あらかじめサポーターを選任しておき、災害などがあった場合には安否確認や避難支援をしてもらう制度です。特に、避難所まで歩いての避難が困難な方は登録をしていただきたいです。制度が始まった当初は、サポーターも高齢の方が多いので、どの程度できるのか疑問視されていました。しかし、共助の精神を大切に活動していくうちに、住民間の協力関係ができてきました。現在は 39 人のサポーターがいます。

サポーターの選任を行う専任委員会のメンバーも高齢化が進んでいるので、今後どのようにしていくか、検討が必要です。



▲市内のさまざまな共助の取り組み

- ①光風台総合防災訓練②中央タウン自主防災会と取手西小の合同訓練
- ③白山自主防災連合会まちなか訓練④戸頭自主防災会の呼びかけ⑤市民参加による市総合防災訓練

### ▶自主防災組織の結成を支援します

市は、安全・安心な生活ができる地域づくりのために、補助金の交付などで自主防災組織の結成・運営を支援します。新たに自主防災組織結成を考えている地区の方は、安全安心対策課にご相談ください。

#### 年間運営支援

150 円×世帯数を年間支給 (3 万円を下限)

#### 資機材調達支援

一団体につき、年間 15 万円を結成年から 3 年間支給 (総額 45 万円)

## 行政の取り組み

### ■避難所の新型コロナウイルス感染症対策

市では、災害時の新型コロナウイルス感染症対策のため指定避難所以外の開設を行います。このほか避難所運営に当たり、間仕切りの設置や、一人当たりのスペース確保などの感染防止の対策を行います。

避難所の開設状況は、市ホームページの緊急情報で確認できます。



#### ▶普段から避難先の検討を

- ・安全な親戚や友人宅などへの避難を検討してください。
- ・可能な限り自宅の少しでも高い所へ避難しましょう。
- ・避難所には入らずに、一時的に車などへ避難しましょう。

※「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる方は、避難する必要はありません。

#### ▶避難所を利用する場合

感染症対策として以下の物を用意し、健康状態を定期的に確認しましょう。

- ・マスク
- ・体温計
- ・消毒液
- ・せっけん
- ・上履き



▲避難所訓練の間仕切り設置の様子

### ■出前講座



市で実施している生涯学習出前講座には、防災を目的とした「備えあれば憂いなし！防災対策講座」があります。地域やグループで防災について学びませんか。市内在住・在勤・在学でおおむね 10 人以上のグループで受講ができます。申し込み方法や開催状況など詳しくは市ホームページかスポーツ生涯学習課 (☎内線 2058) へお問い合わせください。

